

神奈川県民協議会だより

こぶし



区の木：こぶし

No. 17

編集・発行 神奈川県民協議会  
事務局 神奈川県役所区政推進課内  
神奈川県広台太田町3-8  
電話：411-7021  
Fax：314-8890



第17期神奈川県民協議会は、「人を育て、人を守る みんなの輪」をテーマに活動を続けています。部会活動、「地域のつどい」、そのほかの活動についてお知らせします(神奈川県民協議会は略称を区民協としています)。

<http://kanagawakumin.bakufu.org/>

## 平成26年度 「区民のつどい」開催

区民協議会の活動の大きな柱である区民のつどい。今回は、地域の皆様からいただいたヒントを元に設定した第17期(1期2年)の部会活動の活動報告を中心に、「地域のつどい」の結果などを分かりやすく紹介します。多くの区民の皆さまのご参加をお待ちしています。

**第一部 人を育て、人を守る みんなの輪**  
～ 第17期 神奈川県民協議会の活動報告 ～

**第二部 大災害時の火災への備え**  
～ 講演～ 講師 島田 恵氏



当日、区内産の野菜の  
販売もあります。  
購入を希望される方は、  
エコバッグなどを  
ご持参ください。

▲日時 6月29日(日) 午後1時30分～4時15分(午後1時開場)

▲場所 神奈川公会堂

▲定員 400名(手話通訳付き)・・・参加される方は、当日直接会場へお越しください。

▲一時保育をご希望の場合は事務局への事前のご予約が必要です。

## 平成25年開催「区民のつどい」報告

平成25年6月29日神奈川公会堂にて「区民のつどい」が開催されました。

第1部は各部会長が部会活動を発表しました。**ちょっとエコD.O部会**は、ちょっとお得なエコ活を考えるをテーマに、第17期の前半は「ヨコハマ3R夢(スリム)プラン」に注目。**つなぐ会**は、地域の活動の担い手を地域の中から発見し協働する中で育成していくことに注目。**なまずの会**は、災害時の共助調査の一環として区内の全自治会町内会長様方にアンケートを実施。**防犯の会**は、2地区から防犯活動に関する貴重な情報を入手。それぞれの経過を説明しました。

第2部は「減災の第一歩は被災想定を正しく知ることから～あなたの町は大丈夫?～」と題する講演をしました。この講演により、横浜市の被災想定の説明から神奈川県は横浜市の中でも震災による影響が大きいことや、震災時、まずは自分の命を守る、そこからしか何も始まらないことを再認識し、自分の町の危険性を知る必要性を感じていただくことを目指しました。

ご来場くださった皆さま、ありがとうございました。  
少しでも日々の生活にお役に立てる情報があったならば、幸いです。



## ～エコ活民を育てる～

### ちょっとエコDo部会

ちょっとエコDo部会は、ごみ減量や省エネ等のエコ活動推進をテーマに活動しました。

エネルギー館やごみ処理場などの施設見学、行政や地域へのヒアリングを通じて討議を進めてきました。特に、平成25年冬開催の「環境ワークショップ」では、40人近くの参加者と意見交換し、地域の生の声を聞くことができました。



#### ●テーマ別「地域の話し合い」を通じた交流

当部会では、話し合いの場のテストケースとして、「環境ワークショップ」を開催しました。従来の伝達形式の会議ではない場を、地域活動の色々な場面につくることで、問題点を共有し、活動しやすい環境を形成することを提案します。

#### ●区民目線の「エコ活動チェックリスト」などを通じて“エコ活民”を育てる

エコ啓発のためのイラストや情報がふんだんなパンフレットはたくさんあります。一方、情報がありすぎて、どれを見て何をすればいいのか、迷ってしまうことも否めません。部会では、エコ活動を進める区民のために、身近な「エコ活動チェックリスト」の作成を提案します。

## ～地域活動の担い手を育成する～

### つなぐ会

「地域活動の担い手を育成する」ためのよい手立てを提言しようとしてつなぐ会では、2年間の活動の成果の「まとめ」に向かって作業しています。

地域から活動の担い手を探して共に活動することにより、育成を目指していくとの基本方針に基づいて、地域で活動しておられる皆さまの声を聴くために6か所の地域でアンケート調査を実施しました。

その内容を精査して活動の成果として「区民のつどい」で発表出来るよう準備しています。

後継の人事体制をつくりあげることが、言うまでもなく組織の活力であり、将来の地域力を向上するのに必要な要因であることは、アンケート内容からもよく分かります。

第17期後半の5回に及ぶ「地域のつどい」、10月の「区民まつり」等でも色々な気づきのヒントをいただきました。

皆さまのお役にたてる内容になれば幸いです。



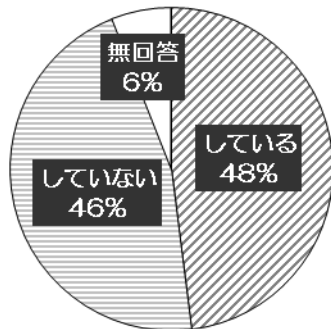
## ～つなげよう 一人ひとりの減災の知恵～

## なまずの会

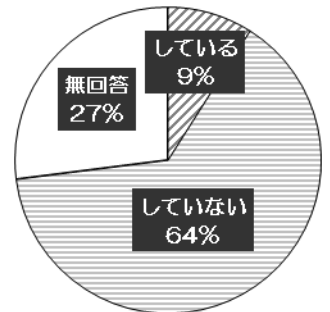
第17期は、自治会町内会における災害時の共助の仕方について調査検討を重ねてまいりました。

昨年、神奈川区184の全自治会町内会長様方に減災に関するアンケートをお願いしたところ、注目すべき点や、興味深い点があっただけでなく、たくさんのお悩みも記入していただきました。2年目は、アンケート結果をもとに、危険箇所がないと回答した町会に本当に危険箇所がないかどうかの街歩き、他都市の視察、お悩みに回答すべく行政との勉強会等を行いました。それらの結果は「区民のつどい」にてご報告させていただきます。

危険箇所の把握



会長が防災ライセンスを取得している割合



## ～それぞれのまちのいい所、掘りおこそう、広げよう～

## 防犯の会

神奈川区の防犯対策を目的に防犯の会では、この2年間に神奈川区連合会、地域の方々、区役所、警察、土木事務所など関係先の協力をいただき、研修、聞き取り調査、アンケートの集計・分析などを通じて、次の4項目に留意することが重要との見通しをつけることができました。

1. 地域の犯罪抑止には「向こう三軒両隣」の連携が有効であること。
2. 地域の犯罪抑止には、地域全体が防犯に関心が高いことを不審者の目に訴えることが重要で、その方法として「掲示板の情報管理の徹底」、「犯罪に焦点を絞った高札の活用」が有効であること。
3. 地域での防犯意識の高揚に「青パト」制度の活用が有効であること。  
(※その促進に向けて、一般車両や商業車の活用など区役所・警察署の連携協力が得られました。)
4. 区内の年間犯罪発生件数の約50%を自転車・オートバイなどの盗難が占めており、その抑止をする為にも放置自転車・違法駐輪対策を進めることが有効であること。



今後はこの視点を踏まえつつ、区境での不都合や振り込め詐欺撲滅などの課題を含め、神奈川区内の防犯対策に協力していきたいと考えます。

## 「地域のつどい」について

区民協は「地域のつどい」を開催し、地域の皆さまがお気づきの点について、その実態や改善案なども含め広くご意見をいただき、それらのご意見をもとに活動テーマを設定しています。これにより早期に活動を始め、区民の皆さまの身近なテーマで活動できるようになりました。

『意見・課題の仕分けの基準』

- A：地域の単位自治会町内会や連合自体で、解決を図ることが適当と考えられる意見・課題及び直接行政の関係機関と対応して、解決を図ることが適当と考えられる意見・課題（「困ったときの窓口一覧」を提供します）。
- B：区民協議会が地域、各種団体、また他地域などと連携し、共同で対応、解決に当たることが適当と考えられる意見・課題（地域と行政等とのコーディネーターとして機能します）。
- C：区民協議会の検討テーマとして取り組み、解決を図ることが適当と考えられる意見・課題（部会やプロジェクトを立ち上げ、課題の解決に向け活動し、提言します）。
- D：区民協議会が検討した結果、行政等に対応や解決を依頼する意見・課題（長期にわたり解決の糸口が見出せない問題など、依頼案件の経過状況及び解決が可能か否かの結果を観察、報告します）。

平成25年度は、次の5地区で、「地域のつどい」が開催されました。

### 第4回：三枚地区（平成25年9月7日、下三枚町会館、参加者61名）

神奈川区の西部に位置する三枚地区は、多くの農地や樹林地など、区内でも特に緑が多い地域となっています。平成30年度には、相鉄・JR直通線の整備に伴い、三枚地区の近くに、JR貨物線横浜羽沢駅付近に新しく駅が設置されるなど、住みよいまちづくりのため開発が続いています。

会場の下三枚町会館は、三枚町全域の鎮守である神明社の境内にあり、とても落ち着いた雰囲気の会場でした。

当日の参加者からは、地域活動の成り手がいない、ペット糞尿のマナーの問題、中学生の地域活動について、雑草放置によるごみ投棄の問題、被災時に亡くなられた方の安置の仕方について、自治会掲示板の活用方法についてなど多岐にわたるご意見をいただきました。

また課題の解決に向けたアイデアを地域の皆様と共有し合い、大変有意義な「地域のつどい」となりました。

三枚地区の皆さま、ありがとうございました。



### 第5回：新子安地区（平成26年1月26日、新子安地域ケアプラザ、参加者53名）

新子安地区は、神奈川区の東端で鶴見区に隣接しており、国道（1号線・15号線）および鉄道（JR・京急）を挟んだ7つの自治会町内会で構成されています。近隣の企業とのかかわりも強く、昔からの住民のつながりも強い地域ですが、マンションの増加により若い世代も増えています。参加者から出されたご意見は、

犬・猫の問題、防災ライセンス普及、津波対策表示、災害放送の問題、国道横断（横断歩道外）・歩道橋（通学路）等の交通問題、人口増加による新子安駅改札混雑の問題、粗大ごみ不法投棄、公園周辺の不法駐車、地域推薦各種委員の表彰情報が伝わらない問題、各種回覧のサイズ統一・片面印刷・大きな文字等の要望などのほか、地域独自の活動の紹介もあり、活発な意見交換ができました。



新子安地区の皆さま、ありがとうございました。

## 第6回：神西地区（平成26年1月26日、区役所大会議室、参加者51名）

神西地区は、JR東神奈川駅の西口に位置し、国道1号線と上麻生道路という緊急輸送路もかかえています。病院、専門学校、スーパー等のビルが多くある町会と、丘陵地に住宅が密集した町会を合わせ、5つの自治会町内会で構成されています。参加者からは、立地条件による地域特有の問題点が挙がる一方で、他の地域と同様の生活に密着した問題点も挙がりました。



大規模スーパー前の違法駐輪、障害者の声の集め方、猫の去勢補助、魅力ある町会加入促進パンフレット作成要望、町会会員減少・世代交代の必要性・人材不足等、ごみの不法投棄、土日の医療機関の充実などのご意見をいただくとともに、防犯灯設置情報等も報告され、有意義な意見交換ができました。

神西地区の皆さま、ありがとうございました。

## 第7回：六角橋地区（平成26年2月17日、六角橋地域ケアプラザ、参加者39名）

六角橋地区は、旧綱島街道を軸に港北区と一部を隣接して、区内でも有数な商店街があることで知られています。特に六角橋交差点の付近は、一般歩行者の他に神奈川大学の学生の姿も多く見られ、大変活気に満ちた地区で、商店街、住宅街と学生街の3つの顔をもつ6つの自治会町内会で構成されています。当日参加の皆さまからは、

- ①ごみの出し方とルールの徹底について
- ②神奈川大学と周辺地域の町会との防災協定について
- ③広域避難場所と地域防災拠点との違いの説明と周知の方法について
- ④町会加入の啓発と役員後継者の育成について

など、平日にもかかわらずたくさんのご意見をいただきました。

六角橋地区の皆さま、ありがとうございました。



## 第8回：子安通1丁目地区（平成26年3月12日、西浜会館、参加者33名）



7年ぶりの「地域のつどい」の開催となった子安通1丁目地区は、京急の子安駅南側に位置し国道15号線の両側に広がって、昔からの漁師町の面影が残る地域に5つの町内会を擁します。入江川第二派川沿いの浜通りからは係留されているたくさんの船が見え、人々が生活道路としている家々の間を縫うように走る小道は、見知らぬ人が通るとすぐに分かる、とのことで防犯効果は絶大です。一方、最近マンションや企業の事務所も増えており、

新しく転居してきた人々との連携が模索されています。当日参加の皆さまからは、

子安駅北側JR下を通る地下道のバリアフリー化、国道15号線入江橋交差点の歩道橋の老朽化、国道沿いの歩道や植え込みにごみが散逸する問題、路側帯の上の駐車車両、入江川の汚れについてなど、多くのご意見をいただきました。

子安通1丁目地区の皆さま、ありがとうございました。

## 区民まつりに5度目の出展

神奈川区「区民まつり」は、平成25年10月13日に反町公園で盛大に開催され、区民協として5度目の出展をしました（今回は第17期の2年目で、前回の経験者も多く準備から片付けまでスムーズに進めることができました）。当日は曇一つない秋晴れの好天に恵まれ、午前中から大勢の来場者があり、大盛況の「区民まつり」となりました。区民協のお店にもたくさんのお客様にきていただき、忙しい一日となりました。



広報活動は、PR冊子の配布と、区民協の認知度と部会活動に対する関心を把握するためのアンケート調査を行いました。

また、食品販売は、声をからして売り込みを行った結果、ホットドッグとフランクフルトを完売することができました。

当日参加した24人の委員全員が、力と心を合わせてPRと完売ができたことで、メンバーの絆がさらに深まった一日となりました。

## 川名区長との懇談会開催

平成25年11月5日に、区役所内で区長との懇談会が開催されました。

区役所からは、区長をはじめ、副区長、総務課長、区政推進課長、地域振興課長、総務課危機管理担当係長、地域振興課担当係長、福祉保健課事業企画担当係長等のご参加をいただき、区民協議会からは、正副代表委員、各部会正副部長等が参加しました。

「ちょっとエコDo部会」（エコ活動）は、生ごみの資源化や自治会町内会別の分別状況の把握について、「つなぐ会」（人材育成）は、自治会町内会の担い手の高齢化や次世代の地域への関わり方について、「なまずの会」（地震減災）は、発災時の区への登庁率および機能性や、町会未加入者への災害時対応に苦慮する町会の実情について、「防犯の会」（犯罪抑止）は、区境の防犯や青パト導入促進について見解を伺いました。

皆様は大変熱心に耳を傾け、真摯にご回答くださいました。このような機会は、部会活動の充実に繋がり、次回の「区民のつどい」での発表にも生かされていくことと思います。



## 第39回区民会議交流会への参加

平成25年11月12日に区民会議交流会が、波止場会館にて開催されました。今回は、「これからのまちづくりを考えよう」をテーマに、現在も区民会議として活動している神奈川区、保土ヶ谷区、青葉区の3区と、区から離れて活動している中区、港南区、旭区、金沢区、港北区、緑区、都筑区の7区も参加して、他の区との交流を深めました。

第1部では、横浜市政策局大都市制度推進室橋田部長をお招きし、横浜市の目指す大都市制度についての講演をいただきました。

第2部では、環境、防災、教育、福祉の4グループに分かれて意見交換を行いました。環境グループでは、品濃町の産業処分場の跡地活用、緑視率やみどりアップ、防災グループでは防災拠点について、教育グループではあいさつ運動や食育、福祉グループでは自助共助や活動の担い手づくりなどを中心に、地域ならではの話が聞けました。



## 施設見学会報告（平成25年12月3日、日吉台地下壕）

慶應義塾大学日吉キャンパス敷地内にある日吉台地下壕へ、25名の委員が参加して施設見学に出向きました。

始めに、日吉台地下壕保存の会のボランティアの方の案内で、日吉への大学施設誘致の経緯や、地下壕建設の背景について説明を受けました。

地下30mの所に総計数kmに亘って掘り巡らされた地下壕は、およそ2ヶ月間で完成されたものとのことで、ここから戦艦大和の出撃命令も発令されたそうです。



現在は簡易の照明とコンクリートの壁しかない壕内ですが、当時は連日作戦会議の繰り返される会議室や、緊急時脱出用の長い階段などもあったそうで、日本の置かれていた状況の非情さが察せられ、一同言葉を失ってしまいました。

教えていただく機会の少ない近・現代史の一端に触れ、神奈川区のすぐ近くにある貴重な戦争遺産から私達が学ぶべきことは多い、と感じさせられた今回の施設見学会でした。

## 施設見学会報告（平成26年2月4日、神田川・環状七号線地下調節池）

ここ数年、集中豪雨やゲリラ豪雨等で、マンホールから水が溢れだしたり、川が氾濫したりして浸水する現象が多くおきています。東京都には、これらの水を一時的に貯める施設があります。

最初に、施設建設の必要性、計画の概要、降雨時の対応、実績、維持に関する説明を受けました。その後、模型を使って、実際の降雨時にどのように水を貯め、またその水をどのように戻すのかという仕組みを教えてください、実際のコントロールルームも見せていただきました。そして、最後に環状七号線の地下43mにある地下調節池に足を踏み入れることとなりました。照明は一切なく、外の音も聞こえず、懐中電灯を消すと、全てから遮断されたような暗闇となります。



メディアなどで目にすることはありましたが、実際にその仕組みの説明を受け、地下調節池に入ってみることで、集中豪雨等への対応の必要性を強く感じました。

## 「横浜特別自治市」構想についての意見交換

平成26年3月4日、横浜市政策局大都市制度推進室橘田部長をお招きし、「横浜特別自治市」構想についてお話をうかがいました。

制度の目的は、県と市の二重行政を解消し、市民サービスの向上と経済の活性化を図っていくことだそうです。県と市を同格にすることにより、県税として支払っていた分が市に入ることになり、財政的にプラスの面があるようですが、同格になるためには法改正が必要であり、今すぐできることではないようです。その一方で、現在、県との話し合いに



より、複数の案件が県から市へ移行できるようになっているそうです。大阪都構想のように、区を再編成し、選挙による区長選出や区議会の設定はなく、大きな横浜市（市議会1つのみ）のままでいくそうです。

「行政目線ではなく市民目線の周知用パンフレットの作成が必要」、「特別自治市になった場合に、県立の施設などは今まで通り使用できるのか等、市民に直結する情報の提供がない」等の意見を区民協として出しました。

## 第18期テーマ/委員募集

神奈川県民協議会は、住みよい神奈川区のまちづくりのため、いくつかの部会に分かれて活動しています。平成26年7月から始まる第18期の活動は、月に1回程度集まって、協議・検討・調査などを行い、活動の成果を関係機関などに提言していきます。

この活動を通じて、たくさんの人々との新たな出会いと、様々な発見をすることができます。皆様も、さまざまな課題の解決に向けて一緒に、活動に取り組んでみませんか？

下記のテーマに関心があり参加ご希望の方は、6月30日（月）までに、神奈川県役所区政推進課広報相談係(045-411-7021)まで、ご連絡ください。

### 一活動のテーマの候補一

- マナー・モラルの改善について（ごみポイ捨て、ペット糞尿、自転車走行・駐輪等）
- 自治会町内会の後継者不足、未加入問題について
- 地域活動と情報伝達について（地域清掃や行事への参加、掲示板の活用等）
- 災害時対応について（事前対策、拠点対応、被災時対応等）
- ごみ関係について（不法投棄、分別、減量、集積所の管理等）

※各課題につきまして一定の人数に達しない場合には、活動テーマとして取り上げないことがあります。

## 第17期代表委員あいさつ

一昨年スタートした第17期は、1期2年間の活動も終盤を迎え、6月に活動成果を発表する「区民のつどい」を間近に控えております。今期の活動内容を振り返ってみますと、我々の次期の活動方針を決める大切な「地域のつどい」を8地区の連合会長様方のご協力で予定通り実施することにより、各地域の皆様から、貴重なご意見をいただけたことは大変大きな成果でした。また、4つの部会活動も着実に成果を上げており、会員相互の知識向上のための施設見学会も3回行うことができ、区長との懇談、「区民まつり」への出展、そして他区区民会議との交流会への参加と、委員諸氏のご協力により無事活動を終えようとしています。

活動を通して、特に「地域のつどい」で各地区の役員をはじめ住民の皆様が、地域を愛し、より良いまちにしようとする前向きに努力されている様子が、数多くのご意見の中で感じられ、我々の活動もその一助にならなければならない、との思いを強くした次第であります。

区民協議会は今年、創設40周年を迎えます。私が代表委員に就任してからの課題でもある広報活動を積極的に進める絶好の機会かと考えておりますので、行政をはじめ連合等の関係機関の更なるご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

代表委員 澤 兼一郎



## 編集後記

- ・第17期区民協議会の活動も、いよいよゴールを目前にして最後のまとめに頑張っています。ご期待ください！！（H.S.）
- ・多くの人に読んでいただく文章の作文は、むずかしい！（T.A.）
- ・広報委員としてこぶしやホームページを何度も見えています。大勢の方に見ていただけたらと思います。（S.H.）
- ・自分の主義主張をプロジェクトの方針に添って具体化していくことの楽しさを学びました。（K.I.）
- ・後半は都合でお手伝い出来ず皆様に迷惑をかけました。（T.K.）
- ・役割をこなしていくうちに、あっという間に2年間が過ぎました。2年間ありがとうございました。（M.S.）
- ・地域の方々に接していると、いつもエネルギーをもらいます。（T.S.）
- ・広報活動にとって一枚の写真の重要性を再認識。これからも撮りまくるぞ。（H.T.）
- ・今号は、ちょっと内容盛りだくさんでお送りしました。区民協の活動を身近に感じていただければ幸いです。（M.U.）